

寒イ力追って対馬へ

水俣病の
葦北町

近く十一隻が出漁

葦北郡葦北町では水俣病で漁業不振に悩む同町の漁民に近海漁業転換資金として四十五万円を融資していたが、二十八、九日ごろ十一隻の船団で対馬海域に出漁することになった。

同町漁民は九月ごろから水俣病の影響で魚の売れ行きが悪くなるにつぼうで、生活は極度に苦しくなった。町当局も放っておけずさる十二日町議会内に水俣病対策特別委員会(委員長篠原雄一氏)を設置、近海漁業転換資金について協議していたが、二十一日四十五万円を漁協に融資した。

こんど対馬海域に出漁する十一隻はいずれも二、三トの発動機船で、来年二月まで一本釣りによる寒イ力漁の操業にあたる。